様式 A―1

|  |  |
| --- | --- |
| 　　　　　　　　　公益財団法人 日本食品化学研究振興財団　　　　　　　　　　　令和３年度 研究助成申請書 |  |

　公益財団法人 日本食品化学研究振興財団

　　理事長　清 水 孝 重　 殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　　年　　　月　　　日

**提出部数　・正１部（左上をゼムクリップ止め）　・副（コピー）１７部（左上をホッチキス止め）**

**・メール（ワード）１部送信**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 申　請　者 | (ふり がな)氏　 名 | 　　　　　　　　　　　 　 　 | 生年月日　　 | 年齢　　　　歳　　　　 |
|  | 〒　　　　　　　　　　　　　　　　　電　話：　 |
| 所属機関 | 名　　　称 | 　　　　＊教室名まで記載すること　 | 職 名 |  |
|   | 〒　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電　話： 　 　　　　　　　　FAX：　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　  |
| 連絡先（郵便物送付先を含む）は　①所属機関・②自宅　を希望 |
| 連 絡 責 任 者（所属・氏名） |  | 電 話：　 |
|  ：  |
| E－mail： |

１．研究課題

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究分野 |  | 化学系 | 一般研究 | 個人研究　　　　 | 新　　規　　　　 |
| 生物科学系 | 課題研究 | 共同研究 | 継続 |
| 研究課題 |  |

２．研究助成申請額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

３．本財団より研究助成金を受けた過去の実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 研　　究　　課　　題 | 助　成　額 |
|  年度 |  |  |
| 年度 |  |  |

４．申請者経歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  | 専門分野 |  |
| 主な所属学会 |  |
|  |  |

５．研究計画

|  |
| --- |
| 1. 研究の目的
 |
| (2) 現在までの研究実績（類似研究がある場合、それとの違いも簡潔に記載のこと） |
| (3) 研究の全体計画 |
| (4) 助成金により行う研究予定期間 | 令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日まで |
| (5) 研究の分担等　 |
| (6) 人権の保護および法令等の遵守への対応　 |

上記の５．研究計画は、本様式の枠内に記載のこと。

　６．経理計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 経 　費 　区 　分 | 金 額 |  積算内訳(経費区分の各項目に付いて、具体的に内容、 単価等により積算を示して下さい。) |
| 研 究 事 業 費（総計）　 　諸 謝 金　　 旅費交通費　　 什器備品費　　 　　 印刷製本費 通信運搬費　　　 会 議 費　　　  | 　　　　　　円 円 円 円円   円 円 　　　　　　円　　円円 |  |
| 備考1.積算内訳欄の紙面が足りない時は、適宜、所要の欄を別紙に補足してください。 2.この計画書は、令和３年度分について作成してください。 3.金額は、円単位で記入してください。　4.什器備品の購入を予定しているときは、10万円以上のものと10万円未満のものに区分し、　 10万円以上のものについては、別紙に当該什器備品の保管場所および必要理由を記入し添付　　 してください。 |

　７．研究経過報告書**（継続研究の場合のみ）**

|  |
| --- |
| 　論文（有：　　　　　　　　　　　　　投稿中：　　　　　　　　　　　　　　無）　学会発表（有：　　　　　　　　　　　　　予定：　　　　　　　　　　　　　　無）　特許（取得　申請中　無） |
| 　コメント |

　８．前年度　経費支出内訳書**（継続研究の場合のみ）**

令和　　年　　月　　日現在

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経 費 区 分 | 経理計画額 | 実 支 出 額 |  |
| 研究事業費 　諸　謝　金 　旅費交通費 　 什器備品費 　  　印刷製本費 　通信運搬費 　   　 　  |  |  |  |

別 表

**助成対象調査・研究分野**

　**１）一般研究**

（１）食品添加物に関する調査・研究

　　ア 安全性、食品健康影響評価等に関するもの

　　イ 有用性、効果、性能、使用技術等に関するもの

　　ウ 品質・性状、規格・基準、不純物、試験検査技術等に関するもの

　　エ 製造、貯蔵、流通、販売等に係る食品衛生に関するもの

　　オ 社会科学(国際比較を含む)的または文献学的調査・研究に関するもの

　　カ その他、財団が特に必要と認めた食品衛生学的調査・研究

（２） その他の食品化学領域における調査・研究

食品用器具、容器、包装および残留農薬等についての食品衛生学的調査・

研究

　**２）課題研究**

（１）食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究

（２）食品添加物を利用した食品および食品素材の保存・安定性向上に関する研究

ア 食中毒防止対策に関するもの

イ 細菌類等の繁殖による変質対策に関するもの

ウ その他、保存・安定性向上に関するもの

（３）各種精油、果汁、果実等の天然香料の基原動植物および食品に含まれるフレーバー成分の化学的研究

　　ア　フレーバー成分の化学的研究およびエキストラクト、アロマ等香料素材の抽出手法・装置等に関するもの

　　イ　食品成分、食品添加物（増粘多糖類等）が関与するフレーバーリリースにおけるフレーバー成分の挙動の物理化学的研究に関するもの

ウ　フレーバー成分の化学構造と官能（香り、味等）活性相関および客観的フレー　バー評価法に関するもの

（４）高齢者・病者・障害者等のための食品添加物を利用した食品・食品成分補給方法の開発研究

ア 食感を中心とした感覚特性の客観化・数値化に関するもの

イ 高齢化社会における食品の食感デザインに関するもの

ウ 健康・栄養改善に関するもの

（５）各国における食品添加物規制の実際と比較に関する調査・研究

（６）食品化学分野における代替タンパク質（Alternative Protein）の特性、機能、安全性等の研究